

上下水道事業は  
中期経営計画を  
推進しています



山元町上下水道事業キャラクター  
タンクン

# 山元町上下水道中期経営計画 令和3年度 実績評価(期末)

<凡例>

「着手状況」の評価： 着手済 **A** 準備・検討中 **B** 未着手 **C** 中止 **D** 保留 **E**

「進捗状況」の評価： 目標以上達成 **S** 目標を達成 **A** 目標を一部未達成 **A** 目標未達成 **B**

目指すべき方向	具体的事業	R3	R4	R5	R6	R7	着手状況	R3目標(括弧内は期限を示す)	R3期末進捗状況	進捗評価
【強靱】 災害等に強い上下水道	施設の耐震化	上水道	配水池耐震化事業の推進 老朽管路更新工事の推進(年間100m程度)				A	①次年度に向けた準備 ②口径100mm 更新L=100m(通年)	①事業の優先度を考慮した結果、老朽管路の更新を急ぐことと施工量を増やし、配水池の耐震化事業は当面実施しないこととした。 ②上記①を受けて、管路更新を予定より多く施工した。 口径100mm 更新L=109m	S
		下水道	汚水管路更新事業の推進				A	①各種口径 更新L=100m(通年)	①各種口径 更新L=234.1m	S
	緊急時のバックアップ体制強化	上下水道共通	災害対策のマニュアル化・訓練の実施				A	①災害対策マニュアル作成(通年) ②給水車応急給水訓練(9月)	①災害対策関連で4編作成 ②R3.8.25とR3.9.10 加圧式給水車操作訓練実施(包括業者と合同) R3.12.14 地下式耐震性貯水槽講習会実施	A
			積極的な広報				A	①各種媒体を使って、きめ細かな情報提供を行う。 【広報やまもと】上下水道経営情報、水道凍結防止情報、休日水道修理当番 【ホームページ】上下水道経営情報、水質関連情報、指定給水装置・公認排水設備等工事業者一覧表、水道凍結防止情報、濁水解消情報 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】 応急給水情報	①各種媒体を使ってきめ細かな情報提供を行った。 【広報やまもと】 予定通り実施 【ホームページ】 予定通り実施 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】 福島県沖地震に伴う応急給水情報発信、大雨による節水(下水道使用)呼掛け発信	A
【持続】 持続可能な上下水道	民間企業との連携による技術継承	上下水道共通	新規連携事業者の拡大 自治会に対し災害時飲料水確保のための啓発活動				A	①地元企業との間で災害時の連携協力体制を構築(3月) ②防災訓練で住民向けに水備蓄啓発(年1回)	①・福島県沖地震に伴う水道復旧に係る地元業者との連携(3月16日~20日) ・過去に水災会等と締結した協定の現況に合わせたものとすべく検討を開始 ②新型コロナウイルス対策で訓練見送りで実施できず	B
			協定の継続的な更新 事業運営ノウハウの蓄積				A	①横浜市からの給水車の贈与(7月) ②横浜ウォーターとの継続的な業務委託と交流(通年)	①横浜市から給水車の贈与(7月) ②横浜ウォーターと継続的な業務委託と交流(通年)	A
			モニタリングの推進と現行委託の検証				A	①定期的なモニタリング活動の継続(年4回)	①定期的なモニタリング活動の継続(年4回) 包括業者との毎月の定例打合せ(12回)	A
			技術継承の推進				A	①横浜ウォーター等を活用した技術継承の推進(通年) ②若手職員へのOJT(通年) ③業務仕訳	①・横浜ウォーター等を活用した技術継承の推進(通年) ・給水装置設計施工基準の説明会開催(11月) ②若手職員へのOJT(通年) ③次期包括業務委託発注に向けた先進自治体調査(決算作成等)	A
施設の長寿命化と計画的な更新	上下水道共通	上下水道共通	コア・ノンコア仕訳				A	①ヒアリング内容の検討(6月) ②ヒアリングの実施(7月) ③ヒアリング結果まとめ、マニュアル化対象選定(7月)	①、②、③7月までに重点取組事項を確認し、必要なものから研修を行い、マニュアル作成 ・補てん財源の構造に関する研修(事務職員向け)を横浜ウォーターにより実施、その資料をマニュアルに記載。(10月) ・包括業者と共同で加圧式給水車の操作訓練を実施(R3.8.25とR3.9.10) ・上下水道事業所職員に対し、一般会計と企業会計の原則等について勉強会を実施(R3.10.12) ・上下水道事業所職員に対し、文書研修と過去の事案を例に業務ミス防止研修を実施(R3.10.26) ・上下水道事業所職員に対し包括業者と共同で行う緊急災害時の初動対応研修及び下水道BCP研修を実施(R3.12.20) ・上下水道事業所が主体となり、各課職員が集い、山下・坂元地域交流センターの耐震性貯水槽操作説明会開催(R3.12.14) ・横浜ウォーターによる町職員及び包括業者を対象とした給水装置設計施工基準の説明会開催(R3.7.15) ・山元町による指定事業者を対象とした給水装置設計施工基準の説明会開催(R3.11.25)	A
			業務のマニュアル化・標準化の推進				A	①ヒアリング内容の検討(6月) ②ヒアリングの実施(7月) ③ヒアリング結果まとめ、マニュアル化対象選定(7月)	①、②、③7月までに重点取組事項を確認し、必要なものから研修を行い、マニュアル作成 ・補てん財源の構造に関する研修(事務職員向け)を横浜ウォーターにより実施、その資料をマニュアルに記載。(10月) ・包括業者と共同で加圧式給水車の操作訓練を実施(R3.8.25とR3.9.10) ・上下水道事業所職員に対し、一般会計と企業会計の原則等について勉強会を実施(R3.10.12) ・上下水道事業所職員に対し、文書研修と過去の事案を例に業務ミス防止研修を実施(R3.10.26) ・上下水道事業所職員に対し包括業者と共同で行う緊急災害時の初動対応研修及び下水道BCP研修を実施(R3.12.20) ・上下水道事業所が主体となり、各課職員が集い、山下・坂元地域交流センターの耐震性貯水槽操作説明会開催(R3.12.14) ・横浜ウォーターによる町職員及び包括業者を対象とした給水装置設計施工基準の説明会開催(R3.7.15) ・山元町による指定事業者を対象とした給水装置設計施工基準の説明会開催(R3.11.25)	A
			水道施設更新事業の推進 老朽管路更新工事の推進(年間100m程度) 継続的な維持管理業務の実施				A	①上平増圧ポンプ更新工事 ②口径150mm更新L=35m ③漏水調査(包括委託)および不良箇所の改善	①機材の納入遅れのため次年度繰越となった ②口径150mm更新L=32.0m ③計画的漏水調査L=44.2km実施、緊急対応調査(随時)13回、R4.3.16福島県沖地震による緊急対応調査9回	A
			取付管及び支線事業 浄化センター設備更新事業 委託事業者と共同による不明水対策 町民への普及活動による水洗化率(接続率)の向上 積極的な施設のメンテナンスによる延命 次期ストックマネジメント計画策定				A	①公共取付管4箇所、農集排取付管2箇所、枝線工事1箇所予定 ②突発対応 ③不明水発生箇所調査(包括委託で実施)および対象箇所の改善(通年) ④広報やまもと、HPへの掲載 ⑤施設調査の実施及び機械電気設備の長寿命化計画(H28策定)に則り、計画的更新 ⑥現地調査の実施及びストックマネジメント計画の策定	①公共取付管6箇所、農集排取付管0箇所、枝線工事2箇所 ②山元浄化センターN0.1汚泥脱水機切替ダンパー修繕 ③包括委託での不明水調査は当年度実施なし、マンホールポンプ設備等修繕17箇所 ④ホームページで下水道接続について継続して掲載 ⑤坂元処理分区分マンホール調査業務委託実施、坂元第1マンホール'ン'監視装置外更新工事の実施 ⑥R3.6.30YWCとストック'メント'計画打合せ実施、R3.12.15 YWCと今後のストック'メント'計画に関する打合せを実施	A
様々な業務改善による経費縮減	上下水道共通	上下水道共通	統廃合計画の検討				A	①計画策定に向けた基礎調査の実施	①R3.10.12 YWC打合せ実施	A
			統廃合計画の策定				A	①更新事業の着実な実施と将来に向けた見直し	①3年度から12年度の事業費を突出した年度がないように設定された予算に従い、R3年度は予定通り更新実施	A
			平準化と着実な推進				A	①近隣事業者との意見交換の実施	①R3.12.12 令和3年度第1回宮城県水道事業広域連携検討会地域部会(合同)ほか、会議等に全4回参加	A
			経営改善や執行体制確保に資する取組み				A	①業務改善活動の実施(通年)	①業務改善活動(通年)と執行体制確保の取組み(1回)	A

# 山元町上下水道中期経営計画 令和3年度 実績評価(期末)

上下水道事業は  
中期経営計画を  
推進しています



山元町上下水道事業キャラクター  
タンクン

<凡例>

「着手状況」の評価： 着手済 **A** 準備・検討中 **B** 未着手 **C** 中止 **D** 保留 **E**  
 「進捗状況」の評価： 目標以上達成 **S** 目標を達成 **A** 目標を一部未達成 **A** 目標未達成 **B**

目指すべき方向		具体的事業	R3	R4	R5	R6	R7	着手状況	R3目標(括弧内は期限を示す)	R3期末進捗状況	進捗評価
信頼される上下水道	住民ニーズの把握と対応	上下水道共通 窓口サービスの充実	土曜日の窓口開庁 お客さまへの良質なサービスの継続					A	①土曜開庁の継続 ②お客さまサービスの継続	①土曜開庁の継続 ②年度末(土日)のお客さまセンター開設 口座振替促進による粗品をお客さまセンターへ配置	A
	広報の充実	上下水道共通 積極的な広報(再掲)	お客さまへの積極的な情報提供					A	①各種媒体を使って、きめ細かな情報提供を行う。 【広報やまもと】上下水道経営情報、水道凍結防止情報、休日水道修理事当番 【ホームページ】上下水道経営情報、水質関連情報、指定給水装置・公認排水設備等工事業者一覧表、水道凍結防止情報、濁水解消情報 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】 応急給水情報	①各種媒体を使ってきめ細かな情報提供を行った。 【広報やまもと】 予定通り実施 【ホームページ】 予定通り実施 【キラリ☆やまもとメール配信サービス】 福島県沖地震に伴う応急給水情報発信、大雨による節水(下水道使用)呼掛け発信	A
		施設見学会の実施	地域住民向け施設見学会の継続的实施					A	①小学校施設見学会(年1回)ほか、申し込みに応じ随時実施月) ②中学生職業体験(5月)	①小学校は当年度申込なし、一般からの申込で1回実施	A
		公正な料金体系のあり方の検討	精査と検討					A	①情報収集(通年)	①県内上下水道料金の状況を議会へ報告(9月) 県内上下水道料金の状況を監査員へ報告(都度)	A
	下水道	町民への普及活動による水洗化率(接続率)の向上(再掲)	継続的な普及活動					A	④広報やまもと、HPへの掲載	④ホームページで下水道接続について継続して掲載	A